

**製品名: エプシン 1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab10554**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	85kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EPN1
別名	EPN1; Epsin-1; EH domain-binding mitotic phosphoprotein; EPS-15-interacting protein 1
遺伝子 ID	29924.0
SwissProt ID	Q9Y6I3
免疫原	エプシン 1 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 140-220

**背景**

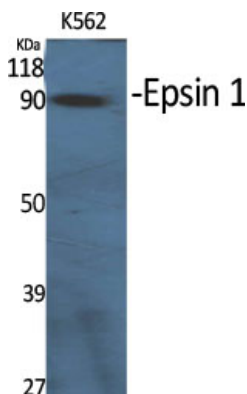
この遺伝子は、エプシンタンパク質ファミリーのメンバーをコードします。コードされたタンパク質はクラスリンに結合し、クラスリン被覆小胞のエンドサイトーシスに関与します。この遺伝子の機能喪失は、特定の癌種において腫瘍の増殖および進行の減少と関

連しています。[RefSeq 提供、2016年3月],ドメイン: DPW リピートドメインは AP2A2 およびクラスリン結合に関与します。 ,ドメイン: NPF リピートドメインは EPS15 結合に関与します。 ,機能: ホスファチジルイノシトール-4,5-二リン酸 (PtdIns(4,5)P2) に富む膜に結合します。膜の曲率を変化させ、クラスリン被覆陥入部の形成を促進します (類似性による)。受容体を介したエンドサイトーシスを制御する。 ,オンライン情報: The bubble's bend - 2004年1月号 第42号,PTM: 有糸分裂細胞において、セリンおよび/またはスレオニン残基がリン酸化される。リン酸化は、REPS2、AP-2、および膜分画との相互作用を低下させる。シナプトソームの脱分極は脱リン酸化をもたらす。 ,PTM: ユビキチン化される。 ,類似性: エプシンファミリーに属する。 ,類似性: 1つの ENTH (エプシン N 末端相同性) ドメインを含む。 ,類似性: 2つの UIM (ユビキチン相互作用モチーフ) 反復配列を含む。 ,細胞内局在: 細胞膜上のクラスリン被覆ピット形成部位に局在する。細胞膜上でクラスリンおよび AP-2 と点状に共存する。シナプス前神経終末およびゴルジ体で検出される。ZBTB16/ZNF145 と結合すると核へ移動する可能性がある。 ,サブユニット: モノマー。クラスリン、ZBTB16/ZNF145、ITSN1 に結合する。ユビキチン化されたタンパク質に結合する (類似性による)。REPS2、EPS15、AP2A1、AP2A2 に結合する。間期および有糸分裂期には、NUMB および TFAP2A を含む複合体を形成し、RALBP1 と相互作用する。

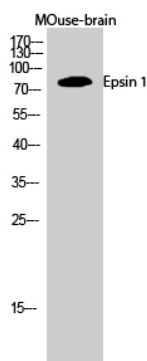
## 研究分野

エンドサイトーシス;

## 画像データ



1: 1000 に希釈した Epsin 1 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 1000 希釈の Epsin 1 ポリクローナル抗体を用いたマウス脳細胞のウェスタンブロット解析